

2020年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ビザスク

代表者名 代表取締役 CEO 端羽 英子

(コード：4490、東証マザーズ)

問合せ先 取締役 CFO コーポレートグループ長 安岡 徹

(TEL. 050-3733-8513)

業績予想の公表に関するお知らせ

2020年4月14日に公表いたしました「2020年2月期 決算短信(日本基準)(非連結)」において未定としておりました2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)の業績予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2021年2月期(通期)の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想(B)	1,400	55	48	36	4.26
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—

(注). 当社は、2021年2月期の第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますので、前期実績については記載しておりません。なお、当期の個別業績予想と前期の個別業績の実績との比較については、本資料の「2. 個別業績予想」をご覧ください。

2. 個別業績予想

2021年2月期（通期）の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想 (B)	1,400	53	44	32	3.78
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (累計)	983	71	57	52	6.88

3. 業績予想の理由

当社は、2020年4月14日において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応の一環としてリモートワークの推奨等が行われているなか、「ビザスク interview」（フルサポート形式のスポットコンサル設営サービス）や「ビザスク project」（顧客の新規事業創出支援サービス）においては、顧客側の活動スピードの低下や経済活動の縮小等により一定の影響があるものと考え、また国内外の経済全体に影響する広範な危機管理対応が実施または想定されていたことから、これらの対応が当社の2021年2月期の業績に与える影響の適正かつ合理的な予測は非常に困難であるとして、同業績予想については未定とし、合理的に予測可能となった時点で公表するとしておりました。

その後、2020年5月25日に緊急事態宣言が全国的に解除されて一定の期間を経て、当社の業績に与える影響の予測も合理的に可能と考えられるにいたり、2021年2月期の業績予想を公表いたします。

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症により、景気の見通しは極めて厳しいものにあると考えられます。一方で、当社の顧客における研究開発や新規事業開発への活動は、この苦境を克服するため、引き続き活発に行われております。また、当社といたしましても、引き続き取扱高の拡大のために様々な施策を展開してまいります。

具体的には、SNS広告やオンラインセミナー等を通じた積極的なマーケティング活動により事業法人の顧客層拡大を狙いつつ、コンサルティング企業や金融法人については、新規顧客獲得活動の継続と、顧客内におけるサービス浸透度を高めるための提案活動を継続してまいります。また、2020年4月にはシンガポール共和国に完全子会社を設立しており、グローバルなサービス展開を更に加速させてまいります。このほか、「ビザスク expert survey」の積極的な拡販や、web上のマッチングプラットフォーム「ビザスク lite」におけるUI/UXの改善を継続して行います。

このような状況から、通期の連結業績予想につきましては、取扱高は2,250百万円、営業収益は1,400百万円を予想しております。損益面においては、人材の採用、マーケティング施策、シンガポール子会社の投資等を積極的に行うことにより、営業利益は55百万円と見込んでおり、経常利益は48百万円、純利益は36百万円と予想しております。

(個別)

業況については、上記と同等となります。営業収益は1,400百万円、営業利益53百万円、経常利

益は 44 百万円、純利益は 32 百万円と予想しております。

以 上